

布の絵本サポーター 活動中!

ボランティア「布の絵本サポーター」の皆さんが中央図書館で活動し、障害児施設への布の絵本の貸出業務を支えてくださっています。

<活動内容>

- 布の絵本のメンテナンス
施設から返却された布の絵本の修理など
- 布の絵本の製作

<他にも>

- おはなし会小道具の製作や、エプロンシアターのメンテナンス等もお願いしています。
(おはなし会の小道具等は乳幼児への読み聞かせボランティア「図書館くまボラさん」に貸出しています。)

<活動日・活動場所>

- 月に1~2回程度 水曜日の午後
- 中央図書館 2階集会室
- 自宅に持ち帰っての作業も可



布の絵本サポーター募集中

興味のあるかた、手芸が好きなかたは
ご相談ください。(報酬はありません)

フェルト、キルティング生地などご寄贈いただけるかたも下記までご一報いただくと助かります。

問い合わせ先

電話 042-394-2900

中央図書館 児童担当

布の絵本



- ☺ 布の絵本は、障害のある子どもたちのために作られた「絵本+遊具」です。
- ☺ 布の持つ柔らかさ、あたたかさが子どもの情緒を豊かにし、やさしい気持ちをはぐくみます。
- ☺ ボタン・スナップ・ファスナー・ひもなどを使って、遊びの中に、はずす、はめる、ひっぱる、合わせる、ほどく、結ぶなどの動作を取り入れることを考えて作られています。
- ☺ 市立図書館所蔵の布の絵本は、「東村山布の絵本企画室」(平成25年度で活動終了)が製作し、寄贈してくださったものです。

東村山市立図書館

中央図書館	本町 1-1-10	TEL394-2900
富士見図書館	富士見町 1-7-35	TEL395-7241
萩山図書館	萩山町 2-13-1	TEL393-3172
秋津図書館	秋津町 2-17-10	TEL391-0930
廻田図書館	廻田町 4-19-1	TEL392-2334

HPアドレス

<https://www.lib.city.higashimurayama.tokyo.jp/>

障害児関連施設や特別支援学級への

布の絵本の貸出

- 障害のある子どもに、療育や遊びの中で布の絵本を活用してもらうため、市内の障害児関連施設や団体に対して貸出をします。
- 貸出点数：1回 5セット程度
貸出期間：約3か月間
*点数や期間は相談に応じます。
- 利用するには
 - ・中央図書館児童担当までご連絡ください。
 - ・「特別貸出登録申込書」に以下のことを記入していただきます。
団体名・住所・連絡先（電話番号・FAX番号・メールアドレス等）代表者名・担当者名
- 利用上の注意
 - ・使用前後に部品リストを確認してください。
 - ・部品が細かいもの、取り外して遊ぶものが多いので、紛失のないようご注意ください。
 - ・壊れたり汚れたりしないように気を付けてください。
 - ・子どもが小さな部品を飲み込んだり、怪我をしたりしないように、必ず大人が付き添った上で遊ばせてください。



東村山布の絵本企画室

（ボランティアグループ・平成25年度で活動終了）

昭和56年の国際障害者年、「すべての子どもに読書と遊びのよろこびを」をテーマに布の絵本・遊具が全国各地に広がりました。

当市でも昭和57年6月に中央図書館で開催した「布の絵本づくり」の講習会（講師：ぐるーぷ・もこもこ）を経て、市の福祉都市推進協議会や東村山ボランティア・コーナーの支援のもと、同年10月、金子寿子さんが中心となってボランティアグループ「東村山布の絵本企画室」を立ち上げました。

企画室は会員制ではなく、月に2回中央図書館で活動日を設け、来られる人が来て作り方を覚えていく、というやり方でした。平成25年度末に活動を終了するまでに100名以上の方が関わり、1000点以上の作品を製作し、特別支援学級、養護学校、保育園等へ届けていただきました。

また、平成13年度からは図書館で年数回「布の絵本プレイルーム」を開催し、乳幼児親子に楽しんでもらう機会を提供しました。

そして、活動終了後に作品のほとんどを図書館に寄贈していただきました。ひと針ひと針に心を込めて作ってくださった宝物を大切に活用していきたいと思っています。